

<障害>の視点から考える政策的課題

—障害学と経済学のコラボレーションに向けて

期日 2010年3月13日(土) 13:00-17:00

場所 [東京大学本郷キャンパス](#) [経済学研究科棟](#) 第1教室

(地下1階)

昨年の政権交代をきっかけに、昨年12月、内閣府に、「障がい者制度改革推進本部」が作られ、今年1年半ばから、障がい者制度改革推進会議がスタートしました。この会議は、障害者権利条約批准を視野に入れ、日本の障害に関わる制度、政策を抜本的に見直し、検討することを目的としており、その構成員の過半数を障害当事者団体関係者が占めるといった画期的なものです。この転換期に、従来とは異なる枠組みで、現在課題となっている障害の定義をはじめとする幅広い課題や、経済制度のなかの障害者施策に関する議論を、あらためて、参加者のみなさんと共有し、議論を深めるきっかけを作りたいと思います。みなさまのご参加をお待ちしています。



プログラム(敬称略)

13:00 趣旨説明

13:10~セッション1【現在課題となっていること 課題化していきたいこと】

山本創(DPI 日本会議) 障害者の貧困・就労・自立支援の課題 「障害」定義の再考という視点から
臼井久実子(READ・障害者欠格条項をなくす会)

欠格条項関連 就労の手前にある困難 補助者・介助者をいれた就労のあり方

児玉有子(東京大学医学研究科 先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門)

慢性疾患と障害と経済

小川喜道(神奈川工科大学) 「障害」と社会参加(パーソナルアシスタントの可能性)

西倉実季(READ) ユニークフェイスと就労に関わる課題

(休憩)

14:40~ セッション2【経済制度の中の障害者施策】

松井彰彦(READ) 経済学の視点から考えられる課題 経済学ができること

勝又幸子(国立社会保障・人口問題研究所) 経済制度の中の障害者の所得保障と自立支援策

岡部耕典(早稲田大学) ベーシックインカム構想と障害者施策

金子能宏(国立社会保障・人口問題研究所) 財政制度の中の障害者施策

(休憩)

フロアを交えたディスカッション

(17:00 終了)

【情報保障】 手話通訳・文字通訳あり 点字レジュメ、拡大文字レジュメは事前にお問い合わせください。

参加費無料・事前申し込み不要 お問い合わせ先 read.koukai@gmail.com

主催・東京大学 READ「経済と障害の研究」